

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【実態調査の実施・生徒指導研修会】</p>	<p>6月から学期ごとに実施し、アンケートの結果から、悩みや困りごとについて全児童と個別面談をした。</p> <p>職員研修会では、グループごとの話し合いを通じて人権教育のあり方についての再確認をした。いじめなど人権に関する問題行動への対応の仕方について職員研修を行い、教職員全員でより効果的な指導方法を考えた。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>毎月実施のアンケートにより、児童の実態を細かく把握することができた。また、いじめの早期発見・早期対応に繋がった。</p> <p>教職員全員の人権に関する共通理解を図ることができた。実際に行った効果的な指導法を話し合うことで、具体的な指導法の意見交流ができた。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>人権教育についての有効な指導法を紙面にまとめて共有し、さらに全体の意識が高まるようにする。</p>
<p>2 実践2 【いじめノックアウト運動】</p>	<p>児童会の事務局委員会が中心になって、いじめについて考え、いじめをなくすための標語・スローガン作りを企画し、各クラスでいじめ撲滅のための標語・スローガン作りを行った。道徳や学級活動の時間にいじめに関する題材などを取り扱い、話し合いを行った。また、各クラスが制作した標語・スローガンを全校に放送したり、昇降口のモニターに映したりした。</p> <hr/> <p>成果</p> <p>話し合いをすることで、いじめに対する理解と認識を深め、いじめは許されないという意識が高まった。自分たちの生活を振り返り、友達との接し方を考えたり相手の気持ちを考えた行動をとったりする児童が増えた。</p> <hr/> <p>課題</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大が収まれば、体育館に全児童が集合し、集会形式で実施したい。</p>